

1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 運河河川担当課長
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上		成果	コスト		
事務事業名	中川口等におけるポンプ施設・通船門等の管理・運営				連絡先	052-651-2072
目的	対象(誰・何を)	ポンプ施設・通船門等			事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。				
概要	中川口ポンプ施設・通船門、松重ポンプ施設等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。				根拠法令等	港湾施設条例施行規則 海岸法第14条の5
令和元年度の実施予定	異常が確認された、又は老朽化した設備については、直営又は外部委託にて補修を行い、災害時に異常なく稼働するようにします。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	管理している設備を計画的に直営および外部委託にて補修を行い、災害時の故障発生を防ぎ、異常なく稼働しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	1,408,790	688,926	94,567	730,761	令和元年度より、事業費の考え方を見直したため、事業費が減少しております。
人件費	千円	63,411	72,369	63,301	66,360	
合計	千円	1,472,201	761,295	157,868	797,121	

3 CHECK(検証)

成果目標名	29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
災害時の施設の故障発生件数(件) (単年度管理型)	目標	0	0	0	0	稼働施設の災害時の故障発生件数(年間)を指標とします。	
	実績	0	0	0	0		
	事業進捗状況(元年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る		
	目標						
	実績						
	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	中川口ポンプ施設・通船門等について、直営及び委託による点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、災害時には異常なく稼働しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性 本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○	港湾管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため、必要な事業です。					
	○						
有効性 事務事業の目的は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	○	災害に備え、海岸防災施設としての機能維持ができ、災害時に異常無く稼働しています。					
	○						
効率性 最小のコストとなっているか?	○	計画的な維持修繕を実施する事で効率的な事業を実施しております。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	中川運河流域市街地を高潮、津波や大雨から守るため必要不可欠な事業であり、適正な管理を推し進めていく必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
施設の経年劣化に対応した適正な維持管理をしていく必要があります。			中川運河流域市街地を高潮、津波や大雨から守るため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。